

自治体、教育機関向け

「災害体験VR勉強会のご案内」

VRで災害の体験が、どこまで可能なのか？

危険はないのか？

複雑な設定等が必要？

初めてでも直ぐに使えるのか？

→実際に体験していただき、疑問にお応えします。



勉強会の目的

VR技術を活用して、自治体の課題解決や地域への貢献を目指します。

地域の方とのコミュニケーションや防災教育に、どのようにVRを役立てるか？を共に考えます。

勉強会の内容

- ①VR技術の基礎と活用法、実際のVR体験
- ②災害時のシミュレーション、教育プログラムの事例紹介
- ③質疑応答が含まれます。(約60分)

勉強会の詳細

日時、場所について、参加お申し込みは以下のサイトへアクセスして、フォームよりご連絡ください。(開催費は無料です。)

無料

※弊社の事業説明、Blogへの掲載等行います。





災害体験VR:教育と予防の新たな手段

1.研究背景と目的

災害は突如として生じ、社会に多大な影響を与える事象です。

特に、教育機関と自治体は、そのようなリスクを軽減する責任があります。本研究プロジェクトは、災害に対する理解と予防対策を向上させる目的で災害体験VRを開発しています。

2.過去の実績と評価

本プロジェクトは多数の自治体と教育機関との共同研究を行い、その有用性と実用性を証明しています。これらの連携は、VR技術が教育と予防において効果的な手段であるという評価を裏付けています。

3.資源配分の考慮

本研究は商業的な目的を持っていないため、最小限の資源で最大の効果を目指しています。

特に予算制約の下で災害教育を実施したい教育機関や自治体に対し、低コストでの提供を心掛けています。

4.対象とする利用者層

このプロジェクトは、災害教育とその普及に誠実に取り組む各機関を対象としています。

そのため、本研究の目的に合致しない用途での利用はご遠慮いただいております。

5.勉強会について

本研究テーマと関連する勉強会も積極的に開催しています。

これらは完全に無償で、販売促進活動とは一切関係ありません。


災害教育の質を向上させたいと考える自治体、教育機関関係者の方からのご相談をお受けしております。



株式会社  獅子

災害/医療/教育 XR 災害VRレンタル

e-Rad研究機関コード/6000212262

 700-8538 岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学病院鹿田会館 SK101

 info@snowlion.jp  086-236-8869